

奉 仕

◆宮坂建設工業(帯広、
宮坂寿文社長)が除排雪奉
仕作業

2日、同市大正町の道道
帯広空港線と市道交差点に
ある「新西国三十三番観世
音菩薩交通安全地藏尊」周
辺で行った。写真。

同社が高規格幹線道路の
帯広・広尾自動車道建設工
事を担当したことから、地
域貢献の一環として200
4年から実施している。

この日は社員ら約22人が
参加。交差点の見通しに影
響を与えていた雪山の雪を
スコップで碎き、重機を使
って排雪した。同社の木幡
彰夫常務は「交通安全や事
故防止につながれば」と話
した。



各企業等の社会貢献

交通安全地蔵尊周辺を除排雪

事故撲滅の願い込め

宮坂建設工業が早朝から作業

【帯広発】宮坂建設工業 雪作業を行っている。

（帯広、宮坂寿文社長）

は二日、地域貢献の一環として、道道帯広空港線沿いの「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」周辺の除排雪作業を行った。写真。二十二人が早朝から作業を実施。交通安全と交通事故撲滅の願いを込めて作業に当たった。

同社は帯広尾道を施工したことをきっかけに、十六年から毎年冬期に、「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」周辺の除排



ヨベル一台やダンプ三台も動員し、交通誘導員を配置し作業を進めた。積もった雪は寒さでしばれ、硬くなっていたことから作業は重労働に。また、重機を使えない細かな

全国各地で発生しており、周辺を通行するドライバーが地蔵尊を見かけ交通安全意識を高めるきっかけになればとの願いを込めて、まとまった降雪があるたびに作業を行っている。

ことし、十勝管内は例年より早く降雪し、地蔵尊周辺には多くの雪が堆積し、見えにくくなっていた。

この日、木幡彰夫常務ら二十二人が参加し、早朝から雪かきを実施。タイヤシ

部分は手作業で除雪した。木幡常務は「社員だけで

はなく、付近を通行するドライバーや近隣の方に交通安全の意識を高めるきっかけになればと思い、活動をしてい

継続している。悲惨な交通事故が起きないよう、これからも活動を続けていきたい」と話していた。